

第2回あべのタスカルにおける防災体験学習プログラム及び
施設体験価値向上に関する検討会議の開催結果について（議事要旨）

- 1 開催日時 令和8年8月10日（月）10時00分～12時00分
- 2 開催場所 大阪市立阿倍野防災センター「あべのタスカル」防災体験学習エリア内
- 3 会議出席者
 - （1）あべのタスカルにおける防災体験学習プログラム及び施設体験価値向上に関する検討会議メンバー（順不同）
碓田 智子 氏、池内 淳子 氏、沖 祐治 氏
 - （2）事務局（消防局）
予防課地域担当5名
 - （3）指定管理者（一般財団法人 大阪消防振興協会）
藤岡センター長
- 4 議事懇談
 - （1）展示更新について
 - （2）指定管理者が行う自主事業の拡大について
 - （3）施設の有料化について
 - （4）阿倍野防災センターの更新計画について
- 5 要旨

配付資料に沿って事務局から説明を行い、各メンバーからの意見は次のとおり。

 - （1）展示更新について

現実では、体験し難いことを阿倍野防災センターで体験できるなど、各コーナーにおいて実災害を実感できるリアリティが必要。

ア 減災を学ぶコーナー
一般の家庭にあるような家具の設置やてんぷら油火災想定

イ 救助を学ぶコーナー
固定設置されたものを操作するのではなく、実際の救助資器材（バールなど）を手に持ったり、考えながら使ってみることが大切。

ウ 備えを学ぶコーナー
非常用トイレ体験や防災ゲームなどプログラムの改正が必要
 - （2）指定管理者が行う自主事業の拡大について

防災体験施設としての設置目的を考慮すると啓発物品の販売促進に注力し過ぎず防災関連グッズの販売を強化しては。本来の阿倍野防災センターの啓発を考えると大阪市の様々なイベントへの参加も有効。

(3) 施設の有料化について

有料化している施設は、被災自治体として体験伝承施設であり、大阪市とは異なる。市の財政上の理由からでは難しいのではないかと。可能性としては市外利用者（在勤・在学を除く。）からの徴収は、検討できる。有料化されれば、アンケートからシビアな意見が得られるといった側面もある。市外企業へのコーチングプログラムの提供などによる一部有料化も検討。

(4) 阿倍野防災センターの更新計画について

災害時の阿倍野防災センターの活用意義を考えることも必要。実災害時には、新訓練センターとは機能分化し、災害対応として阿倍野防災センター部分を消防局が活用する必要性があるものとする。

6 あべのタスカルにおける防災体験学習プログラム及び施設体験価値向上に関する検討会議事録別添のとおり